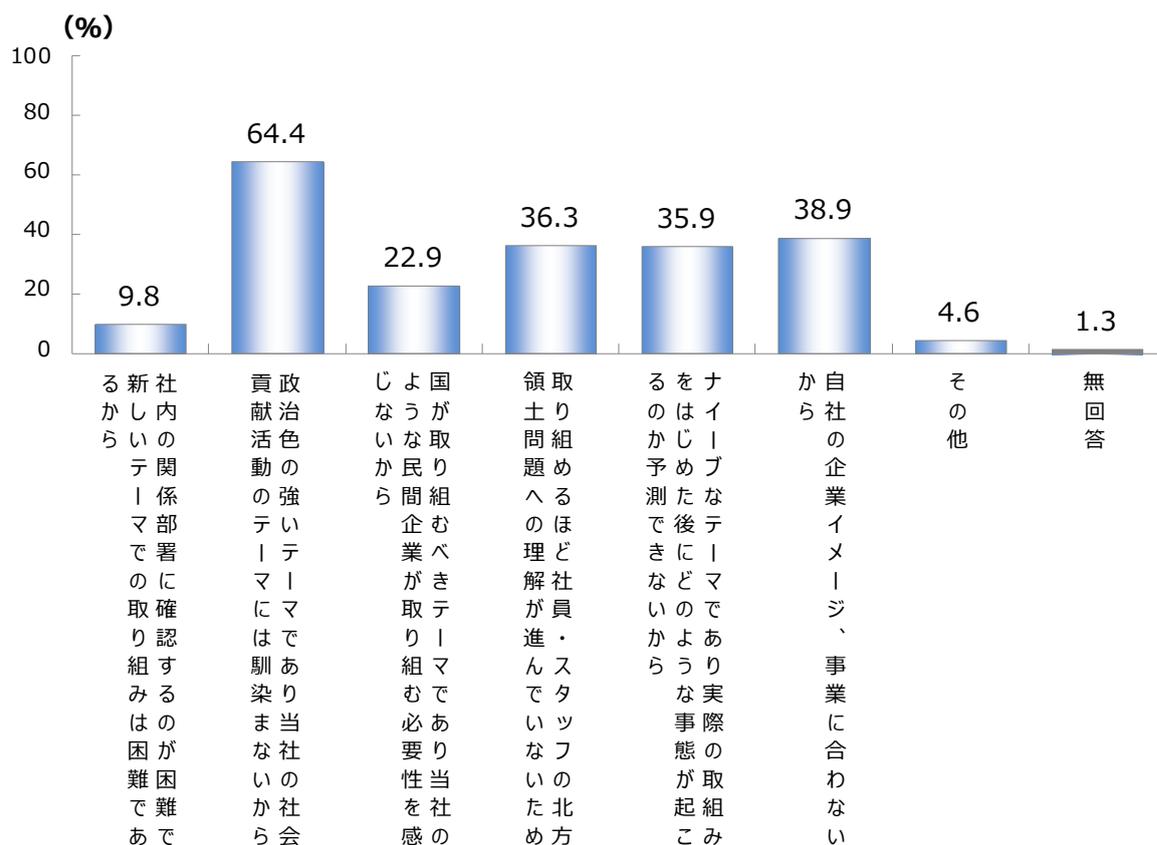


5)「北方領土問題」啓発活動に取り組むのが難しい理由

「会社として取り組むのは難しい」と回答した理由としては、「政治色の強いテーマであり当社の社会貢献活動のテーマには馴染まないから」(64.4%)との回答が目立っている。

- 20-30代では「自社の企画イメージ、事業に合わないから」、40代では「取り組めるほど社員・スタッフの北方領土への理解が進んでいないから」50代以上では「国が取り組むべきテーマであり当社のような民間企業が取り組む必要性を感じないから」が他の年代より高くなった。
- CSR活動全般への取り組みが高い企業は「政治色が強い」ことを理由に挙げる割合が高くなっている。

Q11. 「部署単位、事業所・支社といった個別の対応を含め、会社として取り組むのは難しい」とお答えになった理由を以下の中からお選びください。
(Q10 で「北方領土問題」啓発活動に取り組むのは難しいと回答した企業ベース(n=306))



※TOP2:「会社として是非取り組みたい」と「社内の反応を見ながら会社として前向きに考えたい」の合計、TOP3:TOP2と「全社的には難しいが、社内の特定期間、事業所・支社単位での取組みの可能性はある」の合計

